

第 14 回九州産婦人科内視鏡手術研究会

～ プログラム・抄録集 ～

日 時： 平成 30 年 4 月 14 日（土曜日）12:30～

会 場： A.R.K.（アーク）ビル

福岡市博多区博多駅東 2-17-5 TEL:092-441-3468

- * 研究会参加費は **1,000 円**です。学生、初期研修医は無料です。
 - * 発表時間は **6 分**、質疑応答は **3 分**です。
 - * 発表形式は **Power Point (2010 以降)** によるプレゼンテーションです。**Windows を原則**とします。
 - * **動画のある演者の方は必ず、各自の PC をご用意ください。また、バックアップのメディア (USB メモリーか SD カード) もご持参下さい。**なお、Macintosh の場合は PC およびプロジェクターへの接続コネクタも必ずご持参下さい。
 - * 日本産科婦人科学会専門医の更新には専門医機構の単位（項目別）が必要となります。今回は**専門医機構 IV)学術業績・診療以外の活動実績 1 単位(5 時間未満)**に相当します。この取得には **e 医学会カード(UMIN カード)**を使用しますので、必ずご持参してください。
 - * 日本産婦人科医会シールにつきましては、従来通りのシールでの発行となります。
 - * **日本産科婦人科内視鏡学会技術認定制度における取扱い**は以下のようになります。
 1. 新規申請：学会発表のカウント対象になります（プログラム・抄録集の写しが必要）。
 2. 更新申請：
 - 学会参加（1 ポイント）に計上可能です（ネームカードなどの参加した証が必要）。
 - 学会発表（1 ポイント）に計上可能です（プログラム・抄録集の写しが必要）。
- 参加証明書（名札の下面）とプログラム・抄録集を必ず保管ください。**
- * 本研究会からの案内を新たに希望される方は、下記メールアドレスにご連絡下さい。

当番世話人 蜂須賀 徹（産業医科大学産科婦人科学教室）

TEL：093-603-1611(代表) 093-691-7449(ダイヤルイン)

FAX：093-691-9337

E-mail：t-kurita@med.uoeh-u.ac.jp（担当：栗田 智子）

共 催：ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社

タイムスケジュール

	第1会場 2階 大ホール(A+B)	第2会場 2階 会議室 C
12:00		世話人会
:30	12:20~12:30 (株)ジョンソン & ジョンソン製品説明会	
	12:30~13:15 I 付属器疾患・内膜症	
13:00		
:30	13:15~14:09 II 子宮筋腫	
14:00		
:30	14:09~15:03 III トラブル・工夫	
15:00	15:03~15:20 休憩	
:30	15:20~15:56 IV 悪性腫瘍	
16:00	15:56~16:50 V 妊娠関連	
:30		
17:00		

プログラム

I 群： 付属器疾患・内膜症 12:30～13:15

座長 琉球大学 産婦人科 銘苺 桂子 先生

1. 腹腔鏡下捻転解除術を行った ovarian fibromatosis 茎捻転の一例

国立病院機構小倉医療センター 産婦人科

○河村京子 近藤恵美 小野結美佳 藤川梨恵 浦郷康平 櫻木俊秀 北川麻里江 黒川祐介
川上浩介 川越秀洋 牟田満 大蔵尚文

2. 卵巣充実性腫瘍を疑い腹腔鏡下術後に polypoid endometriosis と診断した症例

宮崎善仁会病院 婦人科

○米田由香里 和田俊朗

3. 術前診断が正しくなかった緊急腹腔鏡手術の2症例

—子宮表面の血管破綻と変性有茎性筋腫の茎捻転—

医療法人社団 高邦会 福岡山王病院 産婦人科

○吉岡愛 坂田暁子 福原正生 木原祥子 小金丸泰子 新谷可伸 宮原明子 岡智 江上りか
渡邊良嗣 中村元一

4. 尿管周囲への進展がみられた深部内膜症の1例

社会医療法人恵愛会 大分中村病院 産婦人科¹⁾ 産業医科大学 産婦人科²⁾

○西田純一¹⁾ 藤澤佳代¹⁾ 金城泰幸^{1) 2)}

5. Y染色体成分陽性の有絨モザイク型ターナー症候群の1例

福岡大学 産婦人科¹⁾ 山口赤十字病院 産婦人科²⁾

○宮原大輔¹⁾ 平川豊文¹⁾ 伊東智宏¹⁾ 南星旭¹⁾ 勝田隆博¹⁾ 四元房典¹⁾ 伊東裕子¹⁾
金森康展²⁾ 城田京子¹⁾ 宮本新吾¹⁾

II 群： 子宮筋腫 13:15～14:09

座長 JCHO 久留米総合病院 産婦人科 畑瀬 哲郎先生

6. 巨大漿膜下子宮筋腫茎捻転の1例

空の森クリニック

○高山尚子 神山茂 町田美穂 中島章 石垣敬子 寺田陽子 徳永義光 佐久本哲郎

7. 巨大子宮頸部筋腫に対して腹腔鏡下子宮筋腫核出術を施行した1例

大分大学医学部附属病院 産科婦人科

○佐藤新平 西田正和 松本治伸 檜原久司

8. 腹腔鏡下子宮筋腫核出術における pseudo capsule と正しい層 —組織学的検討を加えて—

済生会長崎病院 産婦人科

○平木宏一 梶村慈 松本加奈子 藤下晃

9. ノットフリー縫合デバイスを用いた腹腔鏡下子宮筋腫核出術

鹿児島市医師会病院 婦人科

○山崎英樹 濱地勝弘 大塚博文

10. 当院における MORSAFE®挿入の工夫

おもと会 大浜第一病院 女性腹腔鏡センター

○高橋美奈子 上地秀昭 徳嶺辰彦

11. In Bag Morcellation の限界を考える

おもと会 大浜第一病院 女性腹腔鏡センター

○徳嶺辰彦 高橋美奈子 上地秀昭

Ⅲ群： トラブル・工夫 14:09~15:03

座長 産業医科大学 産業保健学部 広域・発達看護学 松浦 祐介 先生

12. ポート穿刺部位の皮下出血のため輸血を要した1例

熊本赤十字病院 内科¹⁾ 産婦人科²⁾

○古川かなみ¹⁾ 荒金太²⁾ 村上望美²⁾ 井手上隆史²⁾ 三好潤也²⁾ 福松之敦²⁾

13. 腹腔鏡下子宮全摘術における腔断端縫合の工夫 - 腔内バルーン挿入法 -

産業医科大学 第1生理学教室¹⁾ 小倉医療センター 産婦人科²⁾

○西村和朗¹⁾²⁾ 藤川梨恵²⁾ 小野結美佳²⁾ 浦郷康平²⁾ 長尾弘子²⁾ 熊谷晴介²⁾ 櫻木俊秀²⁾

北川麻里江²⁾ 黒川裕介²⁾ 近藤恵美²⁾ 川上浩介²⁾ 河村²⁾ 徳田諭道²⁾ 川越秀洋²⁾

牟田満²⁾ 大蔵尚文²⁾

14. TLH における子宮搬出についての考察

宮崎善仁会病院 婦人科

○和田俊朗 米田由香里

15. 子宮回収後の腔壁裂傷から術後大量出血をきたした1例

大浜第一病院 女性腹腔鏡センター

○上地秀昭 高橋美奈子 徳嶺辰彦

16. FUSE (Fundamental Use of Surgical Energy) ハンズオンを開催して

独立行政法人地域医療機能推進機構 JCHO 久留米総合病院

○畑瀬哲郎 園田豪之介 稗田太郎 田崎慎吾

17. LSC 導入後4年間における手術成績からみたスムーズなLSC導入の工夫

産業医科大学若松病院 産婦人科¹⁾ 産業医科大学 産婦人科²⁾

○若荷舞¹⁾ 星野香¹⁾ 吉村和晃¹⁾ 蜂須賀徹²⁾

15:03~15:20 休 憩

IV群：悪性腫瘍

15:20~15:56

座長 九州大学 産科婦人科 兼城 英輔 先生

18. 子宮体癌に対する腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術の導入と成績

佐賀県医療センター好生館 産婦人科

○八並直子 安永牧生

19. 子宮マニピレーターを使用せず Vascular Pseudo Invasion を認めた一例

熊本赤十字病院 産婦人科

○吉丸峻 荒金太 村上望美 井手上隆史 三好潤也 福松之敦

20. 子宮体癌に対する腹腔鏡下傍大動脈リンパ節郭清の経験

九州大学 産科婦人科

○貴島雅子 矢幡秀昭 小玉敬亮 山口真一郎 八木裕史 安永昌史 大神達寛 権丈洋徳
小野山一郎 兼城英輔 奥川馨 浅野間和夫 園田顕三 加藤聖子

21. 腹腔鏡下子宮体癌術後に出現した腹腔内播種性病変に対して腹腔鏡下手術で診断しえた腹膜癌の1例

国立病院機構 小倉医療センター 産婦人科

○櫻木俊秀 河村京子 小野結美佳 藤川梨恵 北川麻里江 黒川裕介 川上浩介 川越秀洋
牟田満 大藏尚文

22. 卵管峡部妊娠後の自然妊娠に伴う同側卵管間質部妊娠の1例

産業医科大学 産科婦人科¹⁾ 産業医科大学 総合周産期母子センター²⁾

○網本頌子¹⁾ 栗田智子¹⁾ 森博士²⁾ 金城泰幸¹⁾ 荒牧聡²⁾ 蜂須賀徹¹⁾

23. 腹腔鏡下卵管切除術を行った子宮内外同時妊娠の1例

福岡大学医学部 産婦人科¹⁾ 山口赤十字病院 産婦人科²⁾

○宮本新吾¹⁾ 伊東智宏¹⁾ 南星旭¹⁾ 勝田隆博¹⁾ 四元房典¹⁾ 伊東裕子¹⁾ 宮原大輔¹⁾

金森康展²⁾ 城田京子¹⁾

24. 不妊患者における子宮筋腫核出術および子宮腺筋症核出術後の癒着についての検討

セント・ルカ産婦人科

○宇津宮隆史 越光直子 後藤裕子 河邊史子 甲斐由布子

25. 子宮筋腫核出術が及ぼす周産期予後の検討

福岡大学 産婦人科¹⁾ 山口赤十字病院 産婦人科²⁾

○伊東裕子¹⁾ 倉員正光¹⁾ 南星旭¹⁾ 伊東智宏¹⁾、勝田隆博¹⁾ 四元房典¹⁾ 宮原大輔¹⁾ 城田京子¹⁾

金森康展²⁾ 宮本新吾¹⁾

26. 帝王切開癒痕症候群（CSS）を有する移植頻回不成功例に対し、内視鏡的治療を経て妊娠しえた一例

高邦会 高木病院 産婦人科

○徳永真梨子 野見山真理

27. 帝王切開癒痕部症候群に全腹腔鏡下子宮全摘術を施行した一例

産業医科大学 産科婦人科¹⁾ 産業保健学部広域・発達看護学²⁾

○田尻亮祐¹⁾ 植田多恵子¹⁾ 網本頌子¹⁾ 遠山篤史¹⁾ 厚井知穂¹⁾ 栗田智子¹⁾ 鏡誠治¹⁾

川越俊典¹⁾ 松浦祐介²⁾ 蜂須賀徹¹⁾

会場 場所



2 階

